



平成30年11月27日

防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」を活用した 大学生による授業実践

香川大学と香川県警察は、地域での防犯に関する調査や取り組みを共同で実施してまいりました。昨年度から、香川県警察と協力して、防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」の開発を行っております。本アプリは、防犯ウォーキングを行いながら、地域安全マップ作りによる情報共有や危険察知能力、防犯意識の向上を目指すものです。

このたび、附属高松小学校で防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」を活用した大学生による授業実践およびフィールドワークを行うことになりました。報道各社におかれましては、健康増進を兼ねた防犯意識の向上ならびに地域の安全・安心なまちづくりの実現をはかるべく県民の皆様方への報道のご協力をお願いいたしたく存じます。

記

- 日時と場所** 12月3日(月) 9:25~10:10 大学生による防犯に関する授業
4年白組: 大学生による安全・危険に関する授業の実施(4年白組)
4年赤組: 大学生による安全・危険に関する授業の実施(図工室)
- 12月4日(火) 10:20~11:05 児童と学生によるフィールドワーク
4年白組: アプリを用いた安全・危険箇所の点検(附属高松小周辺)
4年赤組: 従来の紙ベースでの安全・危険箇所の点検(附属高松小周辺)
- 12月5日(水) 14:10~14:55 地域安全マップ作りと発表
4年白組: アプリを用いた地域安全マップ作りと発表(4年白組)
4年赤組: 従来の紙ベースでの地域安全マップ作りと発表(図工室)

協力学級 香川大学教育学部附属高松小学校4年白組、4年赤組

協力学生 香川大学教育学部心理学研究室学生18名

担当教員 大久保智生、岡田涼(教育学部)、米谷雄介、八重樫理人(創造工学部)

内容

現在、県警察と連携して開発している防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」は、防犯ウォーキングを行いながら、地域安全マップ作りによる情報共有や危険察知能力、防犯意識の向上を目指すものです。

本アプリは従来の紙ベースでは実現できなかった即時共有性とゲーム性を兼ね備えています。即時共有性とは、記録データがユーザー間で即時共有されることです。離れて活動している仲間の様子をアプリの地図上にて確認することができ、離れていても連帯感をもって活動に励むことができます。ゲーム性とは文字通り楽しみながら活動に取り組めることです。差し詰め陣取りゲームのような感覚で、どれだけ旗を立てられたか(危険箇所を見つけられたか)を競争する感覚を生み出し、防犯活動に楽しさを与えます。

今回は、防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」を活用して、大学生が小学校で児童を対象に地域安全マップ作りの授業実践を行います。また、従来の紙ベースの地域安全マップ作りとアプリを活用した地域安全マップ作りの比較も行います。最初の授業では警察と大学生が講義を行い、次の授業では各班に一人ずつ大学生がついて、附属小周辺の安全・危険箇所点検のフィールドワークを行い、最後の授業でも学生が各班について、地域安全マップ作りと発表を行います。

歩いてマイマイ動作画面

★ ユーザーは安全／危険と感じた箇所についての情報を地図上に登録／地図上から確認できます：



ログイン画面



安全／危険と感じた場所を撮影、タグ、メモ



ユーザーが記録した場所には旗が立つ。



旗をクリックすると記録内容を確認可能

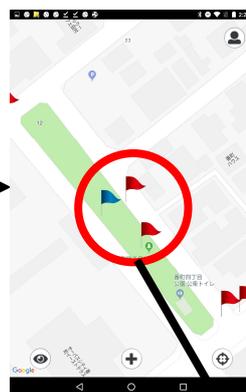
★ ユーザーは他者の記録を確認し、他者の感じ方、観点を知ることができます。自分との比較によるギャップからユーザーは自分に不足している観点到気づくことが可能となり、学習の生起が期待されます：



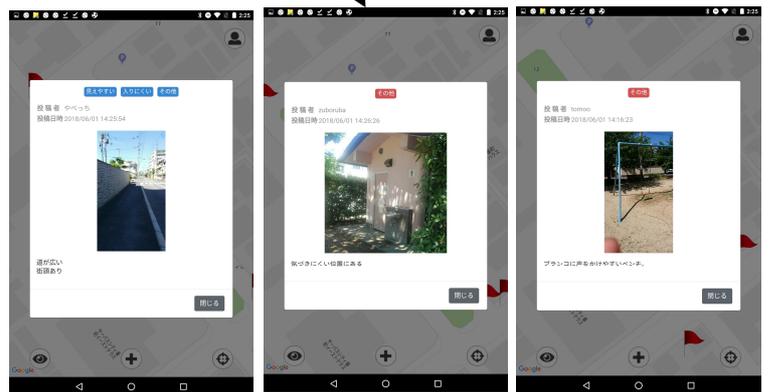
他者の記録箇所も確認可能、密集箇所は色を変えて黒色に可視化。



ユーザーが安全／危険と感じた場所を撮影、タグ付け、メモ



距離が近い場所でも安全（青）と危険（赤）で評価が異なる場所が存在



観点や感じ方が変われば安全とも危険とも判断できる。このギャップに気づくことがユーザーの危険察知能力、防犯意識の向上につながると考えられる。

以上

➤ お問い合わせ先

香川大学 教育学部 准教授 大久保智生 (研究室にいないことが多いので、メールか携帯にお願いします)

TEL : 087-832-1530 E-mail : tomoo@ed.kagawa-u.ac.jp

香川県警察本部生活安全部生活安全企画課犯罪抑止対策係

TEL : 087-833-0110 (内線 3033) E-mail : seikatuanzen@pref.kagawa.lg.jp